

放課後等デイサービス事業所における自己評価結果(公表)

公表：2024年 2月26日

事業所名:運動学習支援教室ココノバ弘前校

		チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点を踏まえた改善内容又は改善目標
環境・体制整備	1	利用定員が指導訓練室等スペースとの関係で適切である	9	0		
	2	職員の配置数は適切である	9	0	急な欠員が出た時でも、お互いに過負荷にならないように協力し合っている。	
	3	事業所の設備等について、バリアフリー化の配慮が適切になされている	6	3	児童の安全を最優先に努めている。	
業務改善	4	業務改善を進めるためのPDCAサイクル(目標設定と振り返り)に、広く職員が参画している	9	0	PDCAサイクルに全職員が参画している。	
	5	保護者等向け評価表を活用する等によりアンケート調査を実施して保護者等の意向等を把握し、業務改善につなげている	9	0		
	6	この自己評価の結果を、事業所の会報やホームページ等で公開している	9	0	法人のHPで公開している。	
	7	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげている	8	1		今後改善を検討していく。
適切な支援の提供	8	職員の資質の向上を行うために、研修の機会を確保している	7	2	入社時、法人で初任研を行っている。	
	9	アセスメントを適切に行い、子どもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、放課後等デイサービス計画を作成している	9	0	分析結果を常に職員で共有している。	
	10	子どもの適応行動の状況を把握するために、標準化されたアセスメントツールを使用している	9	0	保護者面談でのツールを活用している。	
	11	活動プログラムの立案をチームで行っている	9	0	疑似授業等で多くの職員の意見を取り入れている。職員間で相談やアドバイスをしながら立案している。	
	12	活動プログラムが固定化しないよう工夫している	9	0	常に新しいものを取り入れたりして、マンネリ化しないようにしている。	
	13	平日、休日、長期休暇に応じて、課題をきめ細やかに設定して支援している	9	0	預かり時間の長さによって、カリキュラムを変えている。狙いをその都度全員で確認している。	
	14	子どもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせ放課後等デイサービス計画を作成している	9	0	個別と集団を児童の実態に応じて作成している。	
	15	支援開始前には職員間で必ず打合せをし、その日行われる支援の内容や役割分担について確認している	9	0	その日出勤している職員間では、情報・支援内容の共有をしている。	
	16	支援終了後には、職員間で必ず打合せをし、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有している	8	1	支援終了後に、必ずその日の振り返りを行っている。	
	17	日々の支援に関して正しく記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげている	9	0	その日のうちに、利用した方の支援記録を書いている。	
18	定期的にモニタリングを行い、放課後等デイサービス計画の見直しの必要性を判断している	9	0	半年に一度モニタリングを行っている。		
19	ガイドラインの総則の基本活動を複数組み合わせ支援を行っている	9	0	併せてその内容を連絡帳やココノバだよりを活用しながら保護者に伝えている。		
	20	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議にその子どもの状況に精通した最もふさわしい者が参画している	9	0		
	21	学校との情報共有(年間計画・行事予定等の交換、子どもの下校時刻の確認等)、連絡調整(送迎時の対応、トラブル発生時の連絡)を適切に行っている	9	0	毎月の下校時刻やトラブルの有無などを伝え合っている。	

放課後等デイサービス事業所における自己評価結果(公表)

公表：2024年 2月26日

事業所名：運動学習支援教室ココノバ弘前校

		チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点を踏まえた改善内容又は改善目標
関係機関や保護者との連携	22	医療的ケアが必要な子どもを受け入れる場合は、子どもの主治医等と連絡体制を整えている	5	4		※医療的ケアが必要な子は通所していない。
	23	就学前に利用していた保育所や幼稚園、認定こども園、児童発達支援事業所等との間で情報共有と相互理解に努めている	9	0		
	24	学校を卒業し、放課後等デイサービス事業所から障害福祉サービス事業所等へ移行する場合、それまでの支援内容等の情報を提供する等している	9	0		
	25	児童発達支援センターや発達障害者支援センター等の専門機関と連携し、助言や研修を受けている	9	0		
	26	放課後児童クラブや児童館との交流や、障がいのない子どもと活動する機会がある	5	4		放デイ以外の施設との交流の機会を探っていく。
	27	(地域自立支援)協議会等へ積極的に参加している	7	2		今後積極的に参加する。
	28	日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達の状況や課題について共通理解を持っている	9	0	毎日の連絡帳や送迎の歳にも伝えるようにしている。 電話、連絡帳、面談、口頭での情報交換等、あらゆる機会を捉えての情報交換を行っている。	
	29	保護者の対応力の向上を図る観点から、保護者に対してペアレント・トレーニング等の支援を行っている	7	2		モニタリングやそのほかの機会を見つけ、親御さんへの支援を行っていく。
保護者への説明責任等	30	運営規程、支援の内容、利用者負担等について丁寧な説明を行っている	9	0	契約時に行っている。 理解を深めるため、資料準備と丁寧な説明を心がけている。	
	31	保護者からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、必要な助言と支援を行っている	9	0	連絡帳や毎日の送迎時などでも行っている。	
	32	父母の会の活動を支援したり、保護者会等を開催する等により、保護者同士の連携を支援している	3	6		父母の会は今のところ行っていない。
	33	子どもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応している	9	0	その都度スピード感をもって、タイムリーに実践している。	
	34	定期的に会報等を発行し、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信している	9	0	毎月、施設の様子、イベントの様子などをココノバだよりで発信している。	
	35	個人情報に十分注意している	9	0		
	36	障がいのある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしている	9	0		
	37	事業所の行事に地域住民を招待する等地域に関わった事業運営を図っている	4	5		地域の方にパンフレットを配っている。
非常時等の対応	38	緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアルを策定し、職員や保護者に周知している	8	1	定期的な避難訓練を行っている。	ココノバ独自のマニュアルはなく、法人のマニュアルに準じている。
	39	非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っている	9	0	定期的な避難訓練も行っている。	
	40	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしている	9	0		
	41	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、放課後等デイサービス計画に記載している	8	1	・身体拘束は一切行わない。	身体拘束を行わなければならないような重度のお子さんの利用はない。
	42	食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされている	9	0		

放課後等デイサービス事業所における自己評価結果(公表)

公表：2024年 2月26日

事業所名：運動学習支援教室ココノバ弘前校

	チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点を踏まえた改善内容又は改善目標
43	ヒヤリハット事例集を作成して事業所内で共有している	8	1	・その都度情報共有にも努めている。	